

夏の星座にぶら下がって 上から花火を見下ろして

花火-aiko



24 クリエイティブな狼

## 【誤字の校正漏れ】

教材に限らず、誤字の発見は校正において最も基本的な作業であるかと思います。原稿執筆時の勘違いや、文字入力時の打ち間違い・変換ミス、編集時の修正ミスなど、誤字が発生する段階はいくつかありますが、いずれにせよ校正時に完璧に拾い上げなければなりません。

アラレスでは、一つの部材に対して内容校正者と文字校正者の2名で並行して作業しています。2名がそれぞれ、文章の意味を考<sup>え</sup>て読むことで誤字の校正漏れが発生する確率を下げています。また、個々の誤字発見スキルをアップさせるため、あられ's 通信で誤字の具体例の紹介をしています。

それでも、クライアントからご報告を頂く校正漏れの中には、誤字の指摘漏れが多く含まれています。以下は、今回報告を頂いた中学社会教材の誤字の校正漏れの例です。

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| (1) ×徹退→○撤退         | (2) ×飛弾山脈→○飛驒山脈         |
| (3) ×絶対王制→○絶対王政     | (4) ×壇之浦→○壇ノ浦           |
| (5) ×くさび型文字→○くさび形文字 | (6) ×協会が免罪符を…→○教会が免罪符を… |

今回の事例の特徴は、×の漢字も○の漢字と同じ音で読むことが出来るということです。

校正者には、適切な表記の知識が必要です。この教材の校正を担当した2名は、「○の漢字が適切な表記である」という知識は持っていたと思います。しかし、2名とも拾い上げられなかったということは、“つい流し読みをしてしまった。”など原因があったはずですが、誤字を漏れなく発見するには、どのような段取りで、どのようなことを意識して、どのような作業をすればよいのか。校正作業には、知識だけではなくスキルが不可欠であると痛感しました。

## 【脱字の校正漏れ】

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) ×有権数の増加→○有権者数の増加 | (2) ×目盛り→○目盛り |
|----------------------|---------------|

誤字と同様に、脱字発見スキルも鍛えたいです。(1)は、必要な文字がないことに対する違和感。(2)は、不要な文字があることに対する違和感。

また、(1)はグラフのタイトルであったこと、(2)は「盛」と「も」の間で改行されていたことも、2名ともにスルーしてしまった要因の一つであったかと思います。

### 業務連絡

あられ's 通信のバックナンバーは、アラレスのホームページで閲覧できます。ぜひ「アラレス」で検索してみてください。

今年も玄関横でフウセンカズラを栽培しています。Mさんが植木鉢と土を用意してくれました。

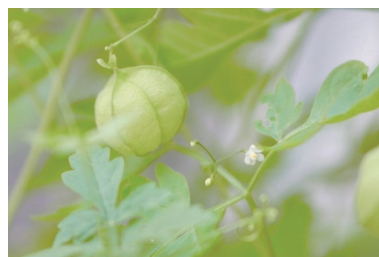


photo by Mさん



文責：沈黙のひつじ